

## 平成28年度真弓南自治会 防災体験学習報告書

本年度の防災対策行事として、自治会員の自助、共助意識の高揚と絆を深め、防災力を高める事を目的として、役員、班長を対象に奈良市防災センター見学会（防災体験学習）を実施致しました。

防災センターのキャッチフレーズ“来て！見て！触れて！楽しく防災学習をしよう！！”の通り、4つの疑似体験を通して、いざ！と言う時に備え、日頃準備すべき事と危険を回避する心構えを学習できた1時間半でした。

4つの疑似体験内容について報告致します。

実施日：2016年6月26日（日）

場所：奈良市防災センター

参加者：役員、班長 27名

## 1. 奈良市防災センター訪問



防災センター全景



防災体験参加者

## 2. 消火体験



消火器の扱い方説明



消火体験中

## 消火体験の要点

- (1) 火災を発見したら、最初に大声で“火事だ～”と叫び、周囲に知らせます。
- (2) 119番に電話し火災通報する。（周囲の人にかけてもらう）
- (3) 火災が天井に燃え移っていたら、もう消火器では消火できません。

天井が燃えていたら、消火はあきらめ、すぐ避難して下さい。

- (4)火が背丈程度までなら消火器、水かけ、濡らした毛布などで初期消火をします。  
 (5)消火器は ①ピンを外す ②ホースを外し火に向ける ③レバーを握って消化する。  
 ポイントは ①慌てず落ち着いて操作する。  
 ②ホースは先端の方を持ち、テコの原理で本体から外す。  
 ③家庭用消火器はレバーを一度握ると消火剤が空になるまで止まりません。  
 ④圧力計のついた加圧式は圧力が適正か定期的にチェックします。

## 2. 煙避難体験



煙避難体験（脱出中）



煙避難体験（脱出完了）

### 煙避難体験の要点

- (1)ホテル、旅館などでは、あらかじめ避難経路を確認しておきます。
- (2)煙を吸わないようタオル、服の袖などで口を押え、低い姿勢で煙の下を避難します。
- (3)ホテル、旅館などでは緑色に照明された非常口表示に沿って脱出します。
- (4)慌てない、煙を吸うので大きな声を上げない、走らずに避難します。

## 3. 台風体験



台風の強さと大きさの説明



風速 20 m 体験中

### 台風体験の要点

- (1)風速 20 m を直接受ける最前列の人は、髪も服も風にかき乱され大変です。  
 2 列目以降は風が前の人に遮られ、物陰に避難する事が有効と分かりました。
- (2)避難は風が強くなる前に行います。もし風が強くなってから避難する場合は、飛来物を避けるヘルメットや座布団で頭を保護して避難します。

#### 4. 地震体験



震度7の地震体験中



模擬東南海地震の揺れ体験中

##### 地震体験の要点

- (1) 屋内で地震が来たら、最初にテーブル、机の下などに避難します。
- (2) 屋外で地震が来たら、ブロック塀、看板など落下物の無い場所に移動してかがみます。
- (3) 余裕があればガスを消します。(湯沸し中の熱湯を浴びないよう注意)  
最近の家庭用ガスメーターは感震遮断機能付きで自動で遮断してくれます。
- (4) 避難する時は電気のブレーカーを切り、戸締りをして徒歩で避難します。

#### 5. 視聴覚教室



震災映像のビデオ鑑賞



震災映像のビデオ鑑賞

##### 視聴覚ビデオの要点

- (1) 阪神大震災、新潟地震の映像を見て地震の怖さや耐震の大切さ、地震に備えての心構えが必要である事を学習しました。

#### 6. 体験講習を終えて

熊本県は地震が少ないと企業誘致でPRしていましたが、記録的な地震に見舞われました。奈良県も大地震が無いイメージがありますが、古文書には大きな地震の記述があるそうです。いざ！と言う時が今日・明日かも知れません。家具の転倒防止や、防災用品の準備など、被害を軽減する対策をしておく事が大切と感じました。

以上